

学科所属について

昼間コース学生は、2年次から、経済学科、商学科（商学科英語専修含む）、企業法学科、社会情報学科のいずれかの学科に所属しなければなりません。そのための申込みは、1年次終了時期の1月中旬（右記参照）に行われ、教授会において決定します。

記

1. 学科所属決定方法

各学科には、それぞれ定員を定めており、成績順にしたがって希望学科へ振り分けていくので、必ずしも第1希望とする学科に所属できるとは限りません。

（1）所属の決定

①成績基準による序列表を作成し、学科定員までを所属決定します。

②学科定員を超えた者は、成績順で第2志望以下に振り分けます。

（2）成績基準

次の科目区分に該当する科目の素点合計

基礎科目（成績得点の高い順に） 4科目以上 8単位

外国語科目（英語及び日本語は2科目とする） 3科目

基幹科目（成績得点の高い順に） 3科目

注：健康スポーツ（1単位）は得点を1/2とする。健康スポーツ1科目（1単位）しか修得していない場合は他の2単位科目の得点を1/2にして健康スポーツと合計し、2単位分を算出する。

注：基幹科目について、商学科英語専修の基幹科目は除く。

注：検定等による単位認定は計算に含めるが、他大学の科目を本学の単位として認定した科目は除く。

2019年度入学生より、商学科に英語専修が新設されました。英語専修は、英語の教員免許の取得を目的としており、商学科に所属が決定した学生のうち、希望した学生のみが所属できます。英語専修所属の学生は、3年次の終わりまでに、教職共通科目のうちから原則として21単位以上習得しなければなりません。
なお、英語専修に所属しなくても、英語の教員免許取得が可能です。

2. 昼間コースの入学定員

経済学科：137名

企業法学科：106名

商学科（商学科英語専修含む）：148名

社会情報学科：74名

3. 「学科所属希望入力フォーム」について

manaba 上から希望入力してください。

希望入力フォーム】

本学 HP>在学生>学生へのお知らせ 及び

manaba>2020 年度学科所属（1 年次生用）

※期間内にリンクを掲載します。



入力期間】1 月 4 日（月）～1 月 15 日（金）

注意事項】

- 必ず第 4 希望まで入力してください。同じ学科の選択は不可です。
- 商学科英語専修を希望する場合は「商学科に所属が決定した場合、英語専修への所属を希望する」を選択してください。
- 期間内であれば変更（訂正）可能です。入力期間後の変更は一切認めません。
- 期間内のみ回答が登録できるようになっています。

4. 所属学科の決定通知について

次年度（2 年次）の前期授業開始時（予定）までにキャンパススクエア（Web）上の「学籍情報参照画面」と「履修成績参照画面」に所属学科名を記載し、各人に通知します。

（参考）学科変更手続き

学科所属を変更したい場合は、学部教務係へ「転科希望理由書」を提出してください。学科変更の決定は、転科希望理由と学業成績を総合して判断しますが、受入可能定員が決まっているので、必ずしも転科が認められるとは限らないので注意してください。

（1）申請方法・期間

2 年次の 2 月末日までに、転科希望理由書を提出してください。

（2）各学科の学業成績基準

学科変更の際の学業成績基準が、各学科で次のように決まっているので留意してください。なお、学業成績基準を満たしていない者の「転科希望理由書」は受理しません。

○経済学科：

2 年次で修得した経済学科科目で、成績が高い順の 3 科目の平均が 70 点以上のもの。

○商学科：

2 年次で修得した商学科科目で、成績が高い順の 3 科目の平均が 70 点以上のもの。

○企業法学科：

1 年次及び 2 年次で修得した企業法学科科目で、成績が高い順の 3 科目の平均が 70 点以上のもの。

○社会情報学科：

2 年次で修得した社会情報学科科目で、成績が高い順の 3 科目の平均が 70 点以上のもの。

（3）結果の通知

学科変更の結果は、3 年次の前期授業開始時（予定）までにキャンパススクエア（Web）上の「学籍情報参照画面」と「履修成績参照画面」で通知します。

学科所属の成績基準(補足)

昼間コース

いずれの場合も、修得科目が対象で、不可科目は計算対象から除かれます。

基礎科目

成績得点の高い順に、4 科目以上 8 単位

健康スポーツ(1 単位)は得点 $\times 0.5$ 。健康スポーツ 1 科目(1 単位)しか修得していない場合は第 5 位の 2 単位科目の得点に 0.5 を掛けて健康スポーツと合計し、2 単位分を算出する。

例)

哲学 2 単位 80 点
科学方法論 2 単位 79 点
数学 I 2 単位 78 点
健康スポーツ Ia 1 単位 $77 \text{ 点} \times 0.5 = 38.5$
健康スポーツ Ib 1 単位 $76 \text{ 点} \times 0.5 = 38$
合計 8 単位 5 科目 313.5 点

例)

哲学 2 単位 80 点
科学方法論 2 単位 79 点
数学 I 2 単位 78 点
健康スポーツ Ia 1 単位 $77 \text{ 点} \times 0.5 = 38.5$
生活と健康 2 単位 $76 \text{ 点} \times 0.5 = 38$
合計 8 単位 5 科目 313.5 点

第 5 位の
2 単位科目

外国語科目

英語及び日本語は成績の高い順に 2 科目、それ以外の外国語は前期と後期のうち成績の良い方 1 科目 → 合計 3 科目

英語と日本語の組み合わせの場合は、英語 2 科目・日本語 1 科目と英語 1 科目・日本語 2 科目のパターンがあり、成績により決まる。

例)

英語 IA 1 単位 83 点
英語 IB 1 単位 79 点
英語 IC 1 単位 78 点
英語 ID 1 単位 82 点
ドイツ語 I-1(前期) 2 単位 81 点
ドイツ語 I-2(後期) 2 単位 80 点

この場合

英語 IA 1 単位 83 点
英語 ID 1 単位 82 点
ドイツ語 I-1 2 単位 81 点
上記 3 科目が採用される

不可科目は計算対象から除かれます。 例えば、英語科目が1科目しか合格していない場合は、英語1科目、英語以外の外国語1科目の合計になります。

例)

英語IA 1単位 83点
英語IB 1単位 55点(不可)
英語IC 1単位 54点(不可)
英語ID 1単位 53点(不可)
ドイツ語I-1(前期) 2単位 81点
ドイツ語I-2(後期) 2単位 80点

この場合

英語IA 1単位 83点
ドイツ語I-1 2単位 81点
外国語科目の計算対象は2科目のみになる。

基幹科目

成績得点の高い順に3科目

どの学科の基幹科目かは問わない(商学科英語専修の基幹科目は除く)

例)

統計学 2単位 64点
経済学入門I 2単位 60点
経済学入門II 2単位 61点
簿記原理 2単位 62点
英文学史I 2単位 64点
法学 2単位 63点
社会情報入門I 2単位 65点

この場合

統計学 2単位 64点
法学 2単位 63点
社会情報入門I 2単位 65点
上記3科目が採用される

不可科目は計算対象から除かれます。 合格した科目が2科目しかない場合は、2科目の合計になります。

例)

統計学 2単位 90点
経済学入門I 2単位 80点
経済学入門II 2単位 50点(不可)
簿記原理 2単位 49点(不可)
法学 2単位 48点(不可)
社会情報入門I 2単位 47点(不可)

この場合

統計学 2単位 90点
経済学入門I 2単位 80点
基幹科目の計算対象は2科目のみになる